

# この二冊に道徳科の学びが詰まっている。

「指導と評価の一体化」に応える教科書

生き方についてともに考えて、語り合うことのできる時間。  
子どもたちのよさに気づいて、  
心の揺れや迷いに寄り添って、  
ともに成長を喜ぶことのできる時間。

子どもたちにとっても、

先生方にとっても、

週に一度のこの時間が待ち遠しくなるように。

道徳科の学びが詰まった教科書をご提案します。

## ポイント1

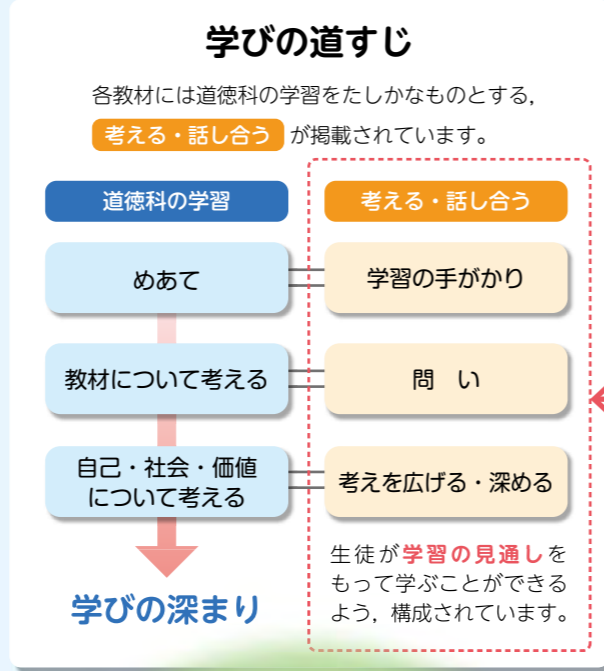
### 本冊 & 別冊の分冊構成

考える・話し合う・自分を振り返る  
道徳授業のすべてをサポート

## ポイント2

### 「道徳ノート」

道徳ノートは「心の記録」  
生徒の成長を実感できる



**本冊** ともに考え、語り合う

本書のしくみと学び方



各教材の最後には、必ず先人の言葉を掲載しています。

本冊と別冊があれば、誰でも道徳の授業ができる。



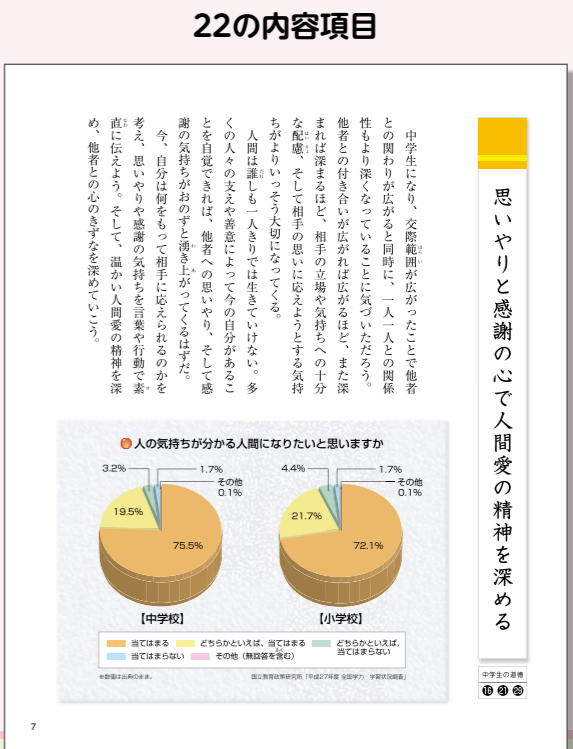
**インターネット** がある教材は、当社ホームページ上に関連資料があります。

●●●●  
道徳ノート  
22 ページ  
インターネット



### 35時間分の記入欄

学習の記録	月	日



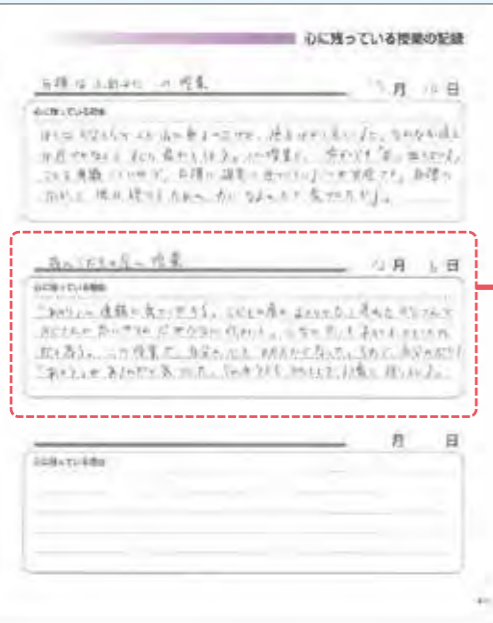
**別冊** 自分を見つめ、振り返る

# 道徳ノートは「心の記録」。 生徒の成長を受け止められる。

評価

別冊道徳ノートには「大きくくり」の評価を助ける工夫が満載。評価の負担を軽減します。

学期や年間のまとめで記入できる  
「心に残っている授業の記録」



心に残った授業のチェックシート  
「心のしおり」の「学習を振り返って」

道徳の時間に学習したこと	学習日	心に残ったこと
この人生の主人公	4/15	○
目標は小羽みに	4/22	○
裏目のできごと	4/30	○
あなたの「生きようとする力」	5/7	○
いつわりのバイオリン	5/13	○
アイツ	5/20	○
半分おとな 半分こども	6/4	○
約のさおの思い出	6/10	○
ヨシト	6/17	○
あのハチドリのように - ファンガリ	6/24	○
本箱の中の船猫たち	7/1	○
アップルノート作戦	7/8	○
解明の死	9/2	○
高 精神 ある朝の出来事	9/16	○
おとぎ話	9/23	○
夜くぐり	10/3	○
ついでに	10/9	○
ミスター・スタール - 安藤 晋一	10/16	○
美しい母の顔	10/23	○
人達を救うにはどうするの?	10/30	○
地下鉄で	11/4	○
舌と舌	11/11	○
隣席がわかってどういうこと?	11/18	○
ネット掲示板	11/25	○
ある日のバッテリーボックス	12/2	○
藍色のシューペンシル	12/9	○
午前一時四十分		○
語りかける目		○
旗		○
終わらなせ挑戦 - 成田 真由美		○
ふみがえった心		○
ふたりの子供たちへ		○
音楽の向こうに		○
ガジュマルの木		○
二枚の写真		○

他にもこんな悩みを解決します。

「学習の記録欄」には発問がない

- 授業の構想に応じて自由に使える!
- 教材の差し替えにも対応できる!

教科書(本冊)とセットになっている。

- ワークシートや他のノートを用意する必要がない!
- 整理・管理がしやすい!

生徒の心に残っている授業の「学習の記録」が評価の参考に!

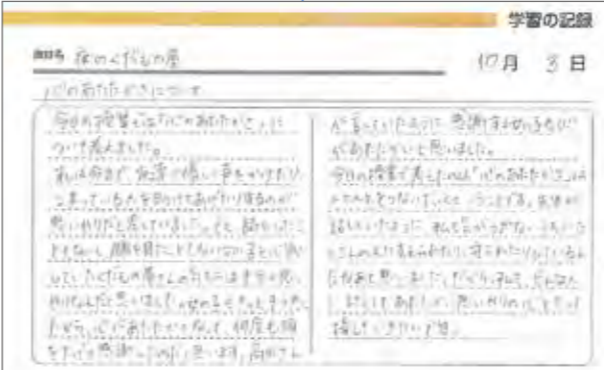
通知表や指導要録作成の手がかりとして活用できる!

指導

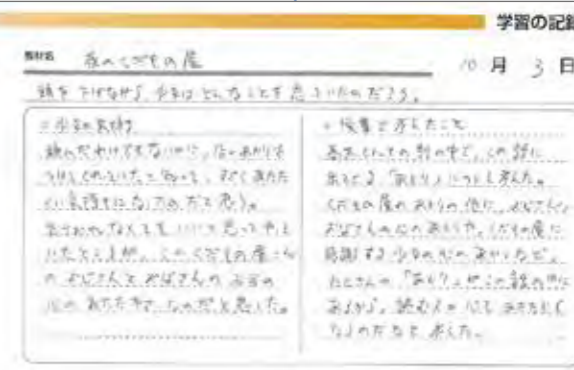
# シンプルだから使いやすい。 でも、たしかに学びが残る。

初任者からベテランの先生まで、授業の構想や時間配分に応じて自由に活用できるノートです。

終末に一度記述させる



一度記述させ、話し合いの後、もう一度記述




- 感動的な教材でじっくりと余韻にひたさせたい、できるだけ多くの生徒が発言できる時間を取りたい……といった授業の場合は、授業の終わりに書かせる使い方が考えられます。
- 自分の考えをもった上で、友達と意見交流をさせる授業の場合は、話し合いの前後で考えを記述させる使い方が考えられます。真ん中の線で区切って使うことで、考えの変化や深まりが分かります。

## 「自由に書いていいよ」でもそれが意外と難しい…?

自分を見つめ、考え、のびす

道徳の授業では、このようなことを意識しながら、感じたことや考えたことをノートに書いてみよう。





- 道徳で「書く活動」を取り入れる場合は、授業を通じて感じたことや考えたことを自由に書けばよいのですが、「どんなことを書けばいいかわからない」という生徒もいます。
- 別冊道徳ノートの「心のしおり」には、道徳科で考える視点を示しています。
- この視点に沿って記述を促すことで、自分の考えを書きやすくなるでしょう。

道徳ノートを活用した指導と評価